

## 校長室から (NO. 4)

### 大会 (大海) に出る

一昨日、射水市の連合運動会が行われました。本校の児童も、スカイブルーの伝統ある校旗を掲げ、市内6年生児童879名の一人として、胸を張って参加することができました。

子供たちは、運動会同様、最後まであきらめず、粘り強くがんばったわけですが、一つだけ、運動会と違うことが子供たちを待っていました。

それは、自分たちとは違う多くの同級生の存在です。数の多さもそうですが、100m走やハードル走等々競うわけですから、その結果、「上には上がいる」ことを知ることになります。このことは、決して悪いことではありません。自らを客観的に見ることができますし、目標を高めるチャンスとなるからです。

子供たちには、たくましく未来を切り拓いていける人になってほしい……。

そのような意味で、連合運動会という「大会」が、子供たちの目には、「大海」のように映っていればよいと思うのでした。「大海」という言葉を使ってみたのは、「井の中の蛙大海を知らず」ということわざを頭の片隅に置いていたからです。が、その後続く言葉もセットで、子供たちに思いをはせておりましたので、記しておきたいと思います。

~~~「井の中の蛙大海を知らず、されど、空の深さ (青さ) を知る」~~~

